

千里ライフサイエンスセミナー T4

『脳の情報処理研究の最前線：神経コーディングやオシレーションを中心として』

日 時：2022 年 11 月 30 日（水） 10：30～16：20（WEB 配信併用）

場 所：千里ライフサイエンスセンタービル 5F
山村雄一記念ライフホール
（大阪メトロ御堂筋線・北大阪急行千里中央駅北口すぐ）

コーディネーター：

藤澤茂義（理化学研究所脳神経科学研究センター時空間認知神経生理学研究チームチームリーダー）

水関健司（大阪公立大学大学院医学研究科神経生理学教授）

開催趣旨：

脳は、多数の神経細胞によって形成される回路により意思決定や空間認識、社会性行動、長期記憶などさまざまな高次機能を実行しています。近年の神経活動記録技術や分子遺伝学的技術の進展により、このような神経回路においてどのように高次機能が実行され、またどのようにそれらの記憶が形成されていくかについて、多くの新たな知見が得られてきました。本セミナーでは、神経コーディングやオシレーションなどに焦点を当て、脳の情報処理研究の最前線を紹介します。

プログラム（演題および演者）：

10：30～10：35 挨拶

審良静男（千里ライフサイエンス振興財団理事長）

10：35～10：50 はじめに

藤澤茂義（理化学研究所脳神経科学研究センター時空間認知神経生理学研究チームチームリーダー）

10：50～11：30 「海馬台における空間情報の表現と情報ルーティング」

水関健司（大阪公立大学大学院医学研究科神経生理学教授）

11：30～12：10 「他者を記憶するための海馬の神経メカニズム」

奥山輝大（東京大学定量生命科学研究所行動神経科学研究分野准教授）

13：20～14：00 「柔軟な意思決定を支える前頭前野の神経機構」

中島美保（理化学研究所脳神経科学研究センター認知分散処理研究チーム副チームリーダー）

14：00～14：40 「経験に基づき予測する神経メカニズム：予測的行動の神経基盤」

濱口航介（京都大学大学院医学研究科生体情報科学講座講師）

14：50～15：30 「海馬における時間・空間の情報処理メカニズム」

藤澤茂義（理化学研究所脳神経科学研究センター時空間認知神経生理学研究チームチームリーダー）

15：30～16：10 「Online and offline LTP during memory consolidation」

林康紀（京都大学大学院医学研究科システム神経薬理分野教授）

16：10～16：20 おわりに

水関健司（大阪公立大学大学院医学研究科神経生理学教授）

参加費：無料

定 員：80 名（WEB 配信 500 名）要事前申込

申込方法：参加希望者は、当財団のホームページの「参加申込・受付フォーム」から 11 月 27 日までにお申込み下さい（<https://www.senri-life.or.jp>）。

定員になり次第締め切ります。

主 催：公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団